

平成23年度基本方針との比較

平成23年10月24日
広島県経済財政会議

I 人づくり

(H23)

■ 労働力人口の減少を補う 潜在的労働力の活用

- 仕事と子育てを両立できる環境づくりの推進
- 高齢者のニーズに合った多様な就業機会の提供

■ 将来の広島県を支える 人材の育成

- 子どもたちの更なる学力・体力の向上
- 実体験などを通じた全人的な教育
- 国際的視野やコミュニケーション能力を持ったグローバル人材の育成と確保

■ 社会減に歯止めをかける 対策の実施

- 県内の高等教育機関の魅力向上と県内外からの人材確保

労働力人口の減少を中長期的に補う観点から、生産年齢期の中心層(15~35歳)を対象とした潜在的労働力(女性)に重点化

経済のグローバル化を踏まえ、将来にわたって広島県を支える人材として、グローバル人材の育成・確保に重点化

将来の広島県を支える子どもの教育の視点が必要

(H24)

■ 女性の社会参画の促進

- 結婚・出産、子育て、ポスト子育て期に応じた就業支援策
- キャリアを活かせる就業の受け皿の創出

■ グローバル人材の育成・確保

- グローバル感覚を持った人材の継続的な育成
- グローバル人材の受入拡大

■ 社会減に歯止めをかける 対策

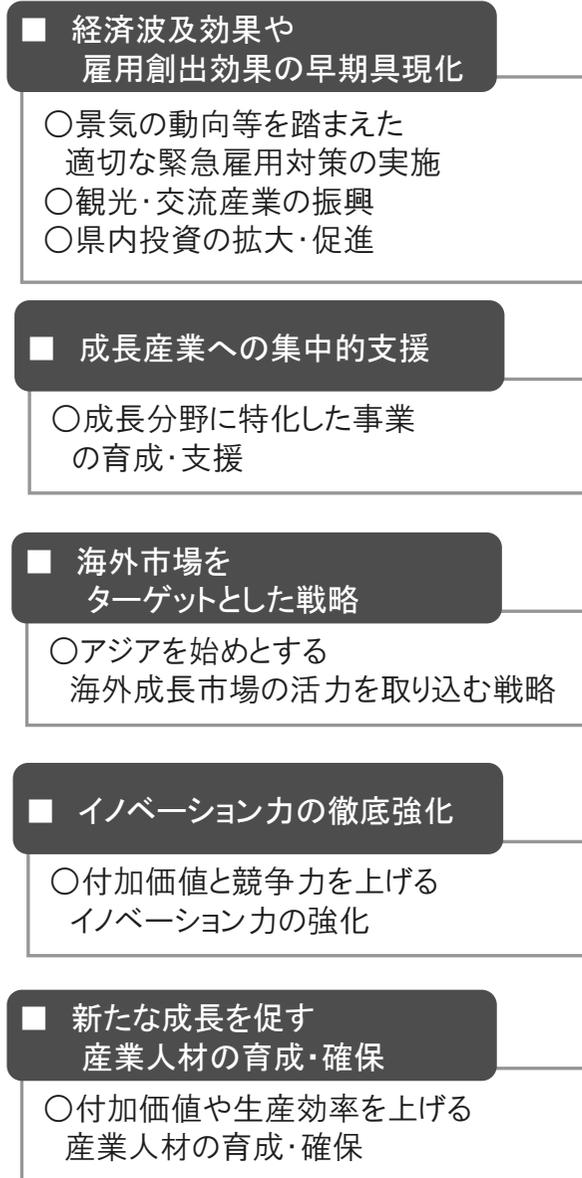
- 若年層の転出超過に歯止め
- 就職等でのU・Iターン促進

■ 将来の広島県を支える 人材の育成

- すべてのベースとなる子どもたちの学力・体力の向上
- 実体験などを通じた全人的な教育

Ⅱ 新たな経済成長

(H23)



産業新成長ビジョンに沿って柱立てを整理

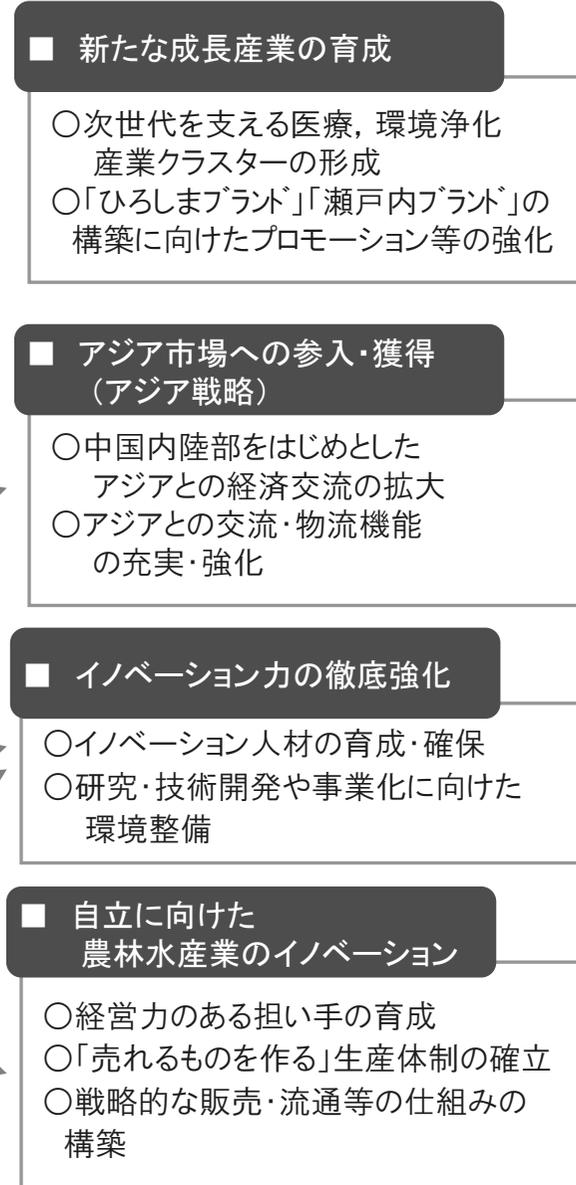
緊急雇用対策等を除外

産業クラスターのターゲットを絞り込み(医療, 環境浄化)

中国内陸部を重点地域化

中山間地域の基幹産業として農林水産業を柱立て

(H24)



Ⅲ 安心な暮らしづくり

(H23)

■ 安心確保に向けた取組

○暮らしの安心の「仕込み」と基盤づくり

- ・地域医療体制の確保
- ・がん対策日本一
- ・地球温暖化防止対策

○暮らしを守るための新たな防災対策

《人》《経済成長》を後押しする質の高い生活の基盤として「医療」を柱立て

東日本大震災により顕在化した課題へ対応するため、「エネルギー」「防災」の柱立てを明確化

(H24)

■ 地域医療体制の確保

- 医療資源の効果的な活用
- 「がん対策日本一」の推進

■ 再生可能エネルギーの導入促進

- 太陽光発電などの導入促進

■ 防災対策の拡充・強化

- 地震被害想定の見直し
- 想定を超える災害への対応

IV 豊かな地域づくり

(H23)

■ 地域全体での 新たな活力創出

- 地域の強みを生かして
地域全体で新たな活力を創出
 - ・中山間地域の産業振興
 - ・山，島体験交流

《人》《経済成長》を後押し
するための環境づくりに
重点化

中山間地域対策の
継続性

(新 規)

広島₂の使命として打ち出し

(H24)

■ 内外の人々を惹きつける 魅力ある地域環境の創出

- 内外からクリエイティブな人材が集う
地域の活力強化
- 活力を生み出す
中山間地域の未来創造

■ 国際平和拠点の形成

- 「国際平和拠点ひろしま構想」の
実現への取組
- 平和のメッセージの発信と
NGOの平和貢献活動の支援